

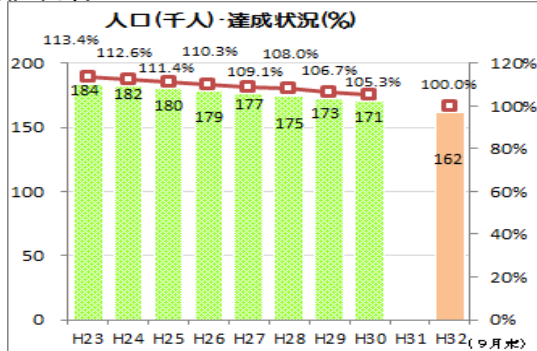
基本目標5 人口減少に対応した地域をつくる

人口減少に対応し、人口規模に見合った歩いて暮らせるまちの実現に向け、コンパクトなまちづくりの推進を施策展開の基本方針とし、公共交通と連携した都市機能の集積とネットワーク化、公有資産マネジメントなどを推進します。

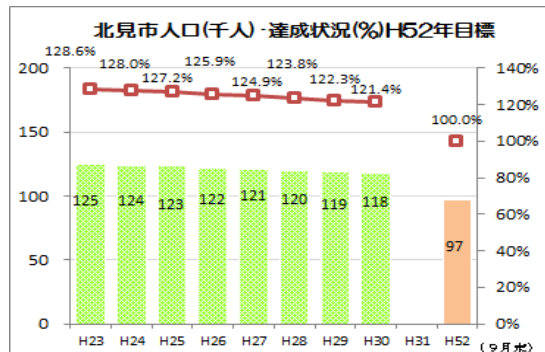
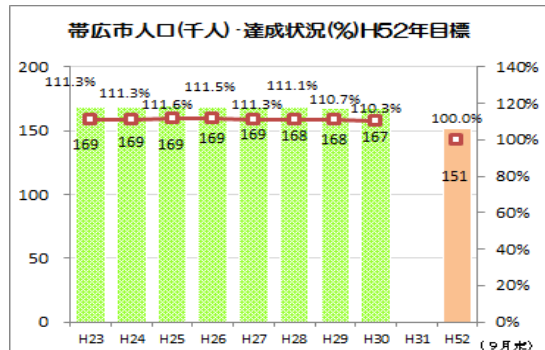
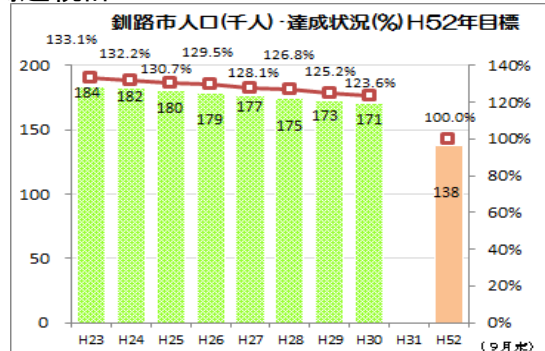
人口減少等により増加している空家等の適切な管理と様々な用途への活用を促進します。

東北海道圏域の中核都市として、物流や交通、医療など社会基盤の整備を促進するとともに、定住自立圏など近隣市町村との連携による拠点性の向上を図ります。

数値目標



関連統計



施策の体系

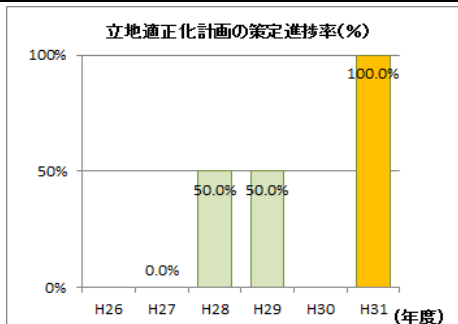
基本目標5
人口減少に対応した地域をつくる

- ① コンパクトなまちづくり
- ② 交通ネットワークの充実
- ③ 総合的・戦略的な公共施設の整備
- ④ 空家対策の推進
- ⑤ 東北海道の中核都市としての拠点性の向上
- ⑥ 定住自立圏等の取組の推進

【基本目標5】人口減少に対応した地域をつくる

①コンパクトなまちづくり

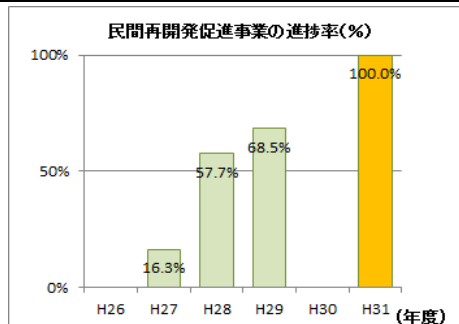
ア コンパクトなまちづくりの推進



増要因 【増減なし】
H27年度からH30年度の4年間で策定を進める立地適正化計画については、H28年度末に都市機能誘導区域を設定した計画を策定・公表し、現在は、H30年度末の計画改訂に向けた作業を進めているところである。策定作業については、この計画改訂を以て完了となることから、H29年度末における進捗率の増減はない。

減要因 —

イ まちなか居住の推進

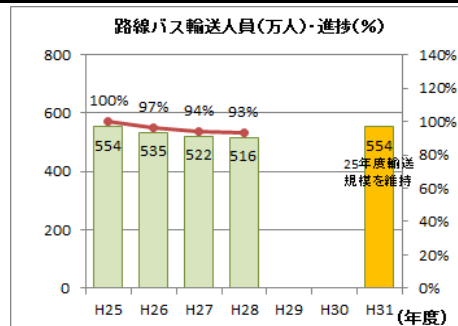


増要因 事業が進んだため
(事業期間H27～H30の3ヶ年目)

減要因 —

②交通ネットワークの充実

ア 公共交通の維持確保と再構築

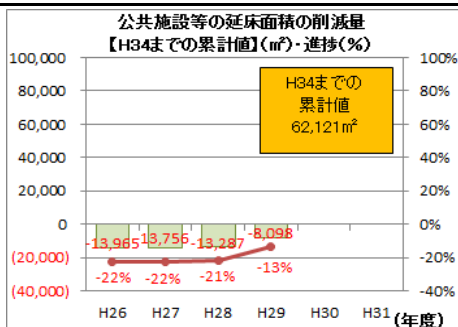


増要因 —

減要因 総人口の減少など様々な要因が考えられる。

③総合的・戦略的な公共施設の整備

ア 公有資産マネジメントの推進



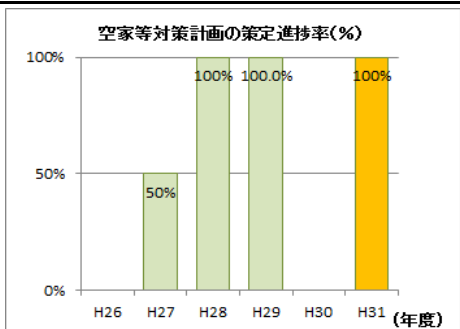
増要因 旧弥生中学校の解体

減要因 —

【基本目標5】人口減少に対応した地域をつくる

④空家等対策の推進

ア 空家等対策の推進



増要因

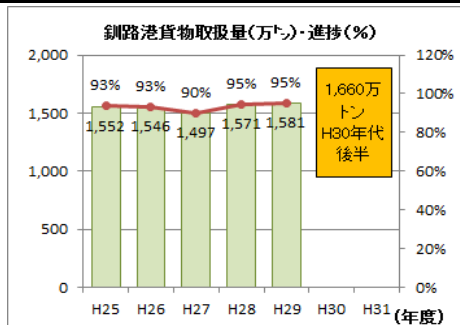
—

減要因

H29.2に空家等対策計画を策定済

⑤東北北海道の中核都市としての拠点性の向上

ア 物流・国際交易拠点機能の充実



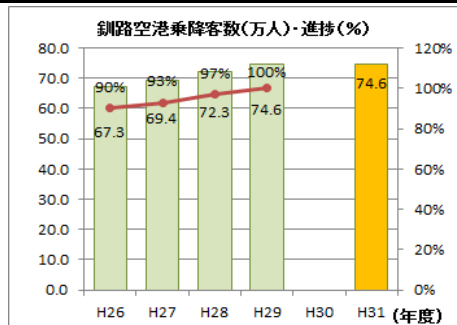
増要因

品目別では増加したものと減少したものがあるが、代表的なものとしては、本州での生乳の需要が増加した事により生乳の移出が増え、その事により空のタンクの移入が増加したことや古紙のバラ積みからシャーシ積みへ変わった事から再利用資材の移入が増加している。減少したものとしては製糖工場の石炭の需要が減り、石炭の移入が減少しているが全体の貨物量としては増加している。

減要因

—

ア 物流・国際交易拠点機能の充実



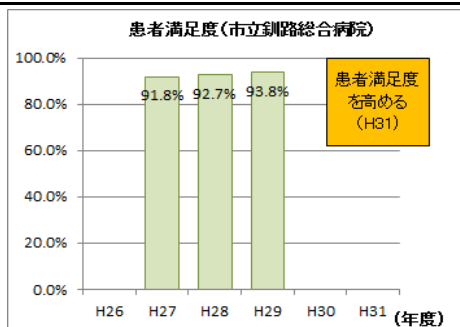
増要因

東京線の乗降客数の増

減要因

—

イ 医療体制の整備（再掲）



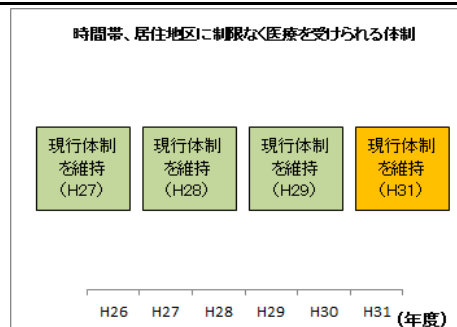
増要因

意見箱からの患者ご意見の参考や、研修の実施によるものと考えられる。

減要因

—

イ 医療体制の整備（再掲）



増要因

—

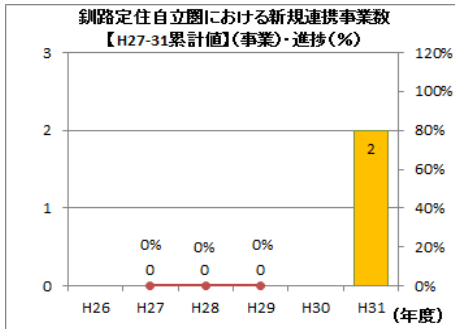
減要因

—

【基本目標5】人口減少に対応した地域をつくる

⑥定住自立圏等の取組の推進

ア 釧路定住自立圏等の取組の推進



増要因

—

減要因

検討中の案件は存在するが、国が指定する期限までに時間があることや、町村との調整に時間がかかり、事業化まで至っていない。